オンライン日本語　N1 コース
Online Japanese N1 Course

第2課　大気だけにとどまらず、海にも影響が出ています。

Lesson 2　It affects not only the atmosphere but also the oceans.

Ⅰ.レッスン目標

Goals of this lesson

1.テレビ番組で使われている日本語が理解できること

Be able to understand Japanese used in TV shows.

2. 環境問題に関する語彙を把握できること

Master the vocabulary about environmental issues.

3. 小説の内容や作家の意図を理解すること

Be able to understand the content and what the author means in a novel written in Japanese.

Ⅱ.会話(かいわ)

Conversation

キャスター：こんばんは。スペシャル番組(ばんぐみ)「みんなの環境(かんきょう)」、
今回(こんかい)は「地球温暖化(ちきゅうおんだんか)」をテーマにお送(おく)りいたします。
本日(ほんじつ)はゲストの方(かた)にお越(こ)しいただきました。
環境委員会(かんきょういいんかい)の研究員(けんきゅういん)で、環境情勢(かんきょうじょうせい)の専門家(せんもんか)で
いらっしゃる安田亮(やすだりょう)さんです。
安田(やすだ)さん、よろしくお願(ねが)いします。

安田(やすだ)：よろしくお願(ねが)いします。

キャスター：さて、昨日(さくじつ)、世界気候(せかいきこう)の調査報告書(ちょうさほうこくしょ)が発表(はっぴょう)されました。
この調査報告書(ちょうさほうこくしょ)によると、昨年(さくねん)の世界(せかい)の平均気温(へいきんきおん)は、
調査(ちょうさ)を開始(かいし)した19世紀半(せいきなか)ば以降(いこう)、最高気温(さいこうきおん)を記録(きろく)したとの
ことです。

安田(やすだ)：そうなんです。地球(ちきゅう)の表面温度(ひょうめんおんど)も過去最高(かこさいこう)を観測(かんそく)しました。
大気(たいき)だけにとどまらず、海(うみ)にも影響(えいきょう)が出(で)ています。
それは、海面水温(かいめんすいおん)と水位(すいい)の上昇(じょうしょう)です。
水位(すいい)に至(いた)っては、この一年間(いちねんかん)の上昇率(じょうしょうりつ)は、過去最大(かこさいだい)です。

近年(きんねん)は以前(いぜん)にもまして、産業活動(さんぎょうかつどう)が活発(かっぱつ)ですから、
この先(さき)も温暖化(おんだんか)が進(すす)んでいくことでしょう。

キャスター　：温度(おんど)や水位(すいい)が上昇(じょうしょう)していることはわかりましたが、
私(わたし)たちの生活(せいかつ)にどう影響(えいきょう)するのでしょうか。

安田(やすだ)　：はい。皆(みな)さんご存知(ぞんじ)のとおり今年(ことし)も猛暑(もうしょ)ですね。
高温(こうおん)の他(ほか)にもゲリラ豪雨(ごうう)、熱波(ねっぱ)などの異常気象(いじょうきしょう)が
増加(ぞうか)しています。気温(きおん)の上昇(じょうしょう)により、動植物(どうしょくぶつ)の絶滅(ぜつめつ)の
リスクも高(たか)まりますし、マラリアやデング熱(ねつ)などの
感染(かんせん)のリスクの高(たか)い地域(ちいき)も増(ふ)えていくでしょう。

キャスター　：これらはすべて地球温暖化(ちきゅうおんだんか)によるものなのですね。

安田(やすだ)　：はい。このまま温暖化(おんだんか)がすすんだ場合(ばあい)、
海面(かいめん)はなんと最大(さいだい)で59cmも上昇(じょうしょう)するそうです。

Ⅲ.語彙（ごい）

Vocabulary

1.いたる	至る	vi.	to reach/to come/ to extend
2.じょうせい	情勢	n.	situation/condition
3.かんそく	観測	n./vt.	observation/to observe
4.すいい	水位	n.	water level
5.ゲリラ		n.	Guerrilla rainstorm (unexpectedly strong rain)
6.ごうう	豪雨	n.	heavy rain/ downpour
7.もうしょ	猛暑	n.	heat wave/
8.ざんしょ	残暑	n.	late summer heat
9.ぜつめつ	絶滅	n./vi.	extinction/ to become extinct
10.マラリア		n.	malaria
11.デングねつ	デング熱	n.	dengue fever
12.かんせん	感染	n./vi.	infection/contagion/ to be infected
13.よぎない	余儀ない	い-adj.	unavoidable/ owing to circumstance beyond one's control
14.しきしゃ	識者	n.	expert/intellect
15.とげる	遂げる	vt.	to achieve/to attain/ to realize/to commit
16.こんぽん	根本	n.	foundation/basis/root/ origin/essence
17.リストラ		n./vt.	layoff/to lay off/to fire
18.あかじ	赤字	n.	deficit
19.くろじ	黒字	n.	surplus

20.そんちょう	尊重	n./vt.	respect/to respect/ to have respect
21.おもんずる	重んずる	vt.	to value/to respect
22.てんじょう	天井	n.	ceiling
23.ないそう	内装	n.	interior/interior decoration
24.わいろ	賄賂	n.	bribe
25.じしょく	辞職	n./vi./vt.	resignation/to resign
26.はき	破棄	n./vt.	destruction/to destruct/ to cancel (a contract)/ to break (a promise)
27.ちんもく	沈黙	n./vi.	silence/to fall silent
28.さんにゅう	参入	n./vi.	entry/participation/ to enter (to the market)
29.せっとう	窃盗	n./vt.	theft/to steal
30.べんしょう	弁償	n./vt.	compensation/ to compensate/ to pay for/to replace
31.わがはい	吾輩	pronoun	I / myself(an old way of speaking with a nuance of arrogance)
32.じめじめ		adv./vi.	damp/humid/gloomy/ to be damp/ to be gloomy
33.しょせい	書生	n.	student (an old- fashioned expression)
34.いちだんと	一段と	adv.	further/still more
35.いきなり		adv.	suddenly
36.あやしい	怪しい	い-adj.	strange/uncertain/ unsure/doubtful/ mysterious
37.あやうい	危うい	い-adj.	dangerous/serious/

			life-threatening
38.どうあく	獰悪	n./な-adj.	fierceness/violent/cruel
39.しゅぞく	種族	n.	race/tribe/species
40.てのひら	掌	n.	palm
41.べつだん	別段	n./adv.	special/particularly
42.やかん	薬缶	n.	kettle
43.そうしょく	装飾	n./vt.	decoration/ornament
44.でくわす	出会す	vi.	to come across
45.とっき	突起	n./vi.	protuberance/ to bulge out
46.けむり	煙	n.	smoke
47.つぶやく	呟く	vi.	to mutter/to grumble/ to murmur
48.ていさい	体裁	n.	appearance/form
49.てきぎ	適宜	n./な-adj.	suitable/proper/ appropriate/ suitableness
50.とがめる	咎める	vt./vi.	to blame/to reprimand/ to feel guilty/ to interrogate
51.なごやか	和やか	な-adj.	harmonious/peaceful/ amicable
52.たくむ	巧む	vt.	to plan/to plot
53.たくみ	巧み	n./な-adj.	skillfulness/cleverness/ shrewdness/skillful/ clever
54.あらい	粗い	い-adj.	coarse/approximate/ rough
55.しぶい	渋い	い-adj.	astringent/grim/sober/ stingy/ bitter/ sour/tasteful
56.いちじるしい	著しい	い-adj.	remarkable/outstanding

57.とりわけ		adv.	particularly/especially
58.だいなし	台無し	n./な-adj.	spoil/ruin/ spoiled/ruined
59.つきなみ	月並み	n./な-adj.	common/ordinary/ trite/commonplace/ monthly
60.つじつま	辻褄	n.	coherence/consistency
61.どうにか		adv.	someway/somehow
62.とぼしい	乏しい	い-adj.	scarce/lacking
63.なだかい	名高い	い-adj.	famous/noted
64.なりたつ	成り立つ	vi.	to consist of/ to materialize
65.ねいろ	音色	n.	tone/sound
66.ねびき	値引き	n./vi.	discount/ to give discount
67.とぼける	惚ける	vi.	to pretend not to know/ to play the fool/ to play innocent
68.はあく	把握	n./vt.	grasp/to comprehend/ to grasp/to perceive
69.はぐ	剥ぐ	vt.	to peel/to tear off/ to take off/to strip/ to deprive
70.ひそか	密か	な-adj.	secret/private
71.ひといき	一息	n.	breath/pause/rest/ a little effort
72.ひとがら	人柄	n.	personality
73.ふしん	不振	n./ な-adj.	dullness/depression/ slump/stagnation/ depressive/inactive
74.ほうじる	報じる	vi. /vt.	to inform/to report/ to repay

Ⅳ.キーワード解説（かいせつ）

Keyword Explanations

1．至（いた）る　vi.

この単語（たんご）はよく助詞（じょし）「に」と一緒（いっしょ）に使（つか）います。

This word is often used with the particle “に”.

…に至（いた）る

「至（いた）る」の三（みっ）つの主（おも）な意味（いみ）を紹介（しょうかい）します。

Three main meanings of “至（いた）る” are introduced here.

①行（い）き着（つ）く、到達（とうたつ）するという意味（いみ）です。

It means to arrive or reach.

例（れい）：

For example:

都（みやこ）に至（いた）る道（みち）にはいくつかルートがある。

There are some routes to get to the capital city.

②時期(じき)・時刻(じこく)になるという意味(いみ)です。

It means a period or time.

例(れい)：

For example:

このコースでは、明治維新(めいじいしん)から現代(げんだい)に至(いた)るまでの日本(にほん)の歴史(れきし)が勉強(べんきょう)できる。

Through this course, you can study Japanese history from the Meiji Restoration to today.

③ある段階(だんかい)・状態(じょうたい)になることを表(あらわ)し、「達(たっ)する」という意味(いみ)です。

It means to become a certain level or state. It means “達(たっ)する”.

日本語(にほんご)の熟語(じゅくご)「事(こと)ここに至(いた)っては、手(て)のほどこしようもない」は「このような事態(じたい)にまでなってしまっては、もはやどうすることもできない」という意味(いみ)を表(あらわ)します。

The Japanese idiom “事(こと)ここに至(いた)っては、手(て)のほどこしようもない” means “Now that things have come this, nothing can be done to help”.

13. 余儀(よぎ)ない　い-adj.

「余儀(よぎ)ない」は他(ほか)になすべき方法(ほうほう)がない、やむをえないという意味(いみ)を表(あらわ)します。書(か)き言葉(ことば)として用(もち)いられることが多(おお)いです。

"余儀(よぎ)ない" means that there is no other way and it cannot be helped.

This tends to be used in written words.

例(れい)：

For example:

理事長(りじちょう)は、協会(きょうかい)の都合(つごう)で余儀(よぎ)なく辞職(じしょく)した。

The president was forced to resign due to the will of the association.

15. 遂(と)げる　vt.

「遂(と)げる」には二(ふた)つの意味(いみ)があります。

"遂(と)げる" has two meanings.

① 目的(もくてき)を達成(たっせい)する、果(は)たすという意味(いみ)です。

It means to carry out one's purpose or to accomplish something.

例(れい)：

For example:

思い(おも)を遂げる(と)　　　目的(もくてき)を遂げる(と)

to attain one's desire　　　to achieve one's end

②最後(さいご)にそういう結果(けっか)になることです。

It means to get a certain result at last.

例(れい)：

For example:

医療現場(いりょうげんば)ではさまざまな進歩(しんぽ)を遂げ(と)ている。

There have been various improvements in medical settings.

彼(かれ)は革命活動(かくめいかつどう)に身(み)をささげ、悲劇的(ひげきてき)な最期(さいご)を遂げ(と)た。

He devoted himself to revolutionary movements and came to a tragic end.

21．重んずる(おも)　vt.

「重んずる(おも)」は「重んじる(おも)」と言い換え(いか)てもよいです。

大切(たいせつ)に思う(おも)、尊重(そんちょう)するという意味(いみ)です。

"重んずる(おも)"can also be written as "重んじる(おも)".

It means to treasure or to respect.

対義語(たいぎご)は「軽(かろ)んずる」です。

The antonym is "軽(かろ)んずる".

例(れい)：

For example:

体面(たいめん)を重(おも)んずる

to be concerned about appearances

人(ひと)の個性(こせい)を重(おも)んずる教育(きょういく)

the education which respects one's personality

32. じめじめ　adv./vi.

「じめじめ」は副詞(ふくし)であり、「する」をつけることによって、動詞(どうし)にもなります。

"じめじめ" is an adverb, which becomes a verb by adding "する".

湿気(しっけ)などが多(おお)く、いやな気持(きも)ちになることを表(あらわ)します。

It implies a gloomy feeling in damp weather.

例(れい)：

For example:

じめじめした気候(きこう)

damp climate

今日(きょう)は、一日(いちにち)曇(くも)っていてとてもじめじめしていた。

It’s cloudy and very damp all day long.

36. 怪(あや)しい　い-adj.

「怪(あや)しい」は普通(ふつう)ではない物事(ものごと)、正体(しょうたい)のはっきりしない事柄(ことがら)に対(たい)する不可解(ふかかい)な気持(きも)ちを表(あらわ)します。

“怪(あや)しい” expresses an inexplicable feeling for something abnormal or something obscure.

動詞(どうし)は「怪(あや)しむ」です。

The verb is “怪(あや)しむ”.

①普通(ふつう)でなく、ひきつけられるということです。

It means to be unusually attracted.

怪(あや)しい魅力(みりょく)

mysterious charm

②行動(こうどう)や状況(じょうきょう)が不審(ふしん)である、疑(うたが)わしいという意味(いみ)です。

It means that an action or behavior looks suspicious or doubtful.

家(いえ)まで怪(あや)しい男(おとこ)がついてきたので、警察(けいさつ)に通報(つうほう)した。

A suspicious man stalked me to my house, so I called the police.

③何(なに)かありそうであることです。

特(とく)に、男女(だんじょ)の間(あいだ)に秘密(ひみつ)の関係(かんけい)があるらしい意味(いみ)を表(あらわ)します。

It expresses a situation that seems to have a special meaning.

It is used especially to express a man and a woman who seem to have a secret relationship.

職場(しょくば)で、あの二人(ふたり)がよく一緒(いっしょ)にいるので怪(あや)しいなあと思(おも)った。

Those two are always hanging out together in the office – they look too close.

④あてにならない。悪(わる)い状態(じょうたい)に向(む)かいそうであることを表(あらわ)します。

It expresses a situation where things look unreliable and may take a turn for the worst.

久(ひさ)しぶりに日本(にほん)に行(い)くので、日本語(にほんご)で上手(じょうず)に話(はな)せるかどうか怪(あや)しい。

It’s been a while since the last time I was in Japan, so I am not sure if

I can speak Japanese well.

怪(あや)しい雲行(くもゆ)き

Things don't look too good.

49. 適宜(てきぎ)　n./な-adj.

「適宜(てきぎ)」は名詞(めいし)であり、な形容詞(けいようし)でもあります。

“適宜(てきぎ)” is a noun as well as a な-adjective.

①その場合(ばあい)・状況(じょうきょう)にぴったりあっていることを指(さ)します。

「適当(てきとう)」という意味(いみ)です。

It means to be suitable for an event or situation. It means “適当(てきとう)”.

適宜(てきぎ)な処理(しょり)

appropriate treatment

時(とき)と場合(ばあい)に適宜対応(てきぎたいおう)する

to deal with it depending on the time and circumstance

② 「適宜(てきぎ)」は便宜(べんぎ)に従(したが)うことです。「随意(ずいい)」という意味(いみ)です。

“適宜(てきぎ)” means to follow a convenience. It means “随意(ずいい)(optional/free)”.

この会社(かいしゃ)では、従業員(じゅうぎょういん)は適宜(てきぎ)に休暇(きゅうか)を取(と)ることができる。

In this company, employees can take leave at their convenience.

過去(かこ)の伝票(でんぴょう)は適宜整理(てきぎせいり)してください。

Please organize the old receipts in a way you think is best.

50. 咎(とが)める vt./vi.

「咎(とが)める」は他動詞(たどうし)であり、自動詞(じどうし)でもあります。

“咎(とが)める” is a transitive verb, as well as an intransitive verb.

(1) 他動詞(たどうし) vt.

① 注意(ちゅうい)したり責(せ)めたりすることです。

It means to warn or blame.

過(あやま)ちを咎(とが)める

to reproach someone for the mistake

遅刻(ちこく)を咎(とが)める

to pick on someone for being late

②怪(あや)しく思(おも)って尋(たず)ねることです。

It means to doubt and ask.

警察(けいさつ)に咎(とが)められる

to be asked by the police.

(2) 自動詞(じどうし)　vi.

① 傷(きず)、腫(は)れ物(もの)などが刺激(しげき)を受(う)けて悪化(あっか)することを指(さ)します。

It means that a suppuration or swelling gets stimulated and hurt worse.

傷(きず)が咎(とが)める

The cut is inflamed.

②悪(わる)いことをして心(こころ)に痛(いた)みを
感(かん)じるさまを表(あらわ)します。

It expresses a feeling of guilt for doing something bad.

気(き)が咎(とが)める　　良心(りょうしん)が咎(とが)める

to feel bad　　to feel the pricks of conscience

55. 渋(しぶ)い　い-adj.

名詞(めいし)は「渋(しぶ)さ」です。「渋(しぶ)い」にはいくつかの意味(いみ)があります。

The noun is “渋(しぶ)さ”.” 渋(しぶ)い” has several meanings.

① 舌(した)がしびれるような味(あじ)、または感覚(かんかく)を表(あらわ)します。

It means a taste or feeling that leaves the bitters on the tongue.

例(れい)：

For example:

渋(しぶ)い味(あじ)のぶどう酒(しゅ)

sour wine

この柿(かき)は渋(しぶ)すぎて、食(た)べられないよ。

This persimmon is too bitter to eat.

② 声(こえ)などが低(ひく)く落(お)ち着(つ)いているさまを表(あらわ)します

It is used to express a voice that is low and calm.

例(れい)：

For example:

あの歌手(かしゅ)の渋(しぶ)い声(こえ)に 憧(あこが)れている。

I adore the singer's low voice.

③ 華(はな)やかでなく、落(お)ち着(つ)いた深(ふか)い味(あじ)があることを 表(あらわ) します。

It expresses that something is not gaudy, having a deep calming color.

例(れい)：

For example:

渋(しぶ)い色(いろ)の着物(きもの)　　　渋(しぶ)い好(この)み

a muted color kimono　　　cool and classic taste

④不平(ふへい)そうである。苦(にが)りきっているという意味(いみ)です。

It expresses a look of irritation and having a bitter feeling.

例(れい)：

For example:

彼(かれ)はまゆをひそめて、渋(しぶ)い顔(かお)をしている。

He knitted his brows and frowned.

59. 月並み(つきなみ)　n./な-adj.

(1)名詞(めいし)　n.

「月並み(つきなみ)」は毎月(まいつき)決(き)まって行(おこな)われることです。

月(つき)ごと、毎月(まいつき)という意味(いみ)です。

“月並み(つきなみ)” represents a monthly event.

例(れい)：

For example:

月並み(つきなみ)の例会(れいかい)

monthly meeting

(2)名詞(めいし)・な形容詞(けいようし)　n./な-adj.

ありふれていて平凡(へいぼん)なこと、ありきたりという意味(いみ)です。

it expresses something is mediocre and ordinary.

例(れい)：

For example:

月並み(つきなみ)な台詞(せりふ)　　彼(かれ)の作品(さくひん)はまったく月並み(つきなみ)そのものといっていい。

a mediocre line　　His work is nothing but mediocrity.

61. どうにか　adv.

「どうにか」は「する」をつけることによって、動詞（どうし）にもなります。

“どうにか” also becomes a verb followed by “する”.

どうにかする

to manage it

①「どうにか」はいい結果（けっか）に到達（とうたつ）するまでに手間（てま）・時間（じかん）がかかることを表（あらわ）します。「やっとのことで」という意味（いみ）です。

“どうにか” means that some time and effort are spent to get a good result.

例（れい）：

For example:

空港（くうこう）に行（い）く途中（とちゅう）、渋滞（じゅうたい）がひどかったですが、どうにか飛行機（ひこうき）に間（ま）に合（あ）った。

There were terrible traffic jams on the way to the airport,

but I somehow arrived in time for the flight.

山田君（やまだくん）は　どうにか売（う）り上（あ）げ目標（もくひょう）に達成（たっせい）したようだ。

Mr. Yamada somehow achieved the sales goal.

②十分（じゅうぶん）ではないが、一応目的（いちおうもくてき）を達（たっ）することを表（あらわ）します。

「なんとか」という意味（いみ）です。

It means to be not good enough, but sufficient for a purpose at least.

It means “なんとか”.

例（れい）：

For example:

お値引（ねび）きの件（けん）、どうにかなりませんか。

Can you find some ways to give me a discount?

桑本（くわもと）さんは　アルバイトで　生活（せいかつ）をどうにか維持（いじ）している。

Mr. Kuwamoto works a part-time job to make ends meet.

74. 報（ほう）じる　vi./vt.

「報（ほう）ずる」と同（おな）じ意味（いみ）です。

「報（ほう）じる」は自動詞（じどうし）であり、他動詞（たどうし）でもあります。

It means the same as “報（ほう）ずる”.

“報（ほう）じる” is an intransitive verb as well as a transitive verb.

(1)自動詞(じどうし)　vi.

「恩(おん)にむくいる」という意味(いみ)を表(あらわ)します。

It means “恩(おん)にむくいる(to repay one's kindness)”.

例(れい)：

For example:

恩(おん)に報(ほう)じる

to repay an obligation

(2)他動詞(たどうし)　vt.

①うらみをはらすという意味(いみ)です。

It means to get one’s revenge.

例(れい)：

For example:

恨(うら)みを報(ほう)じる

to get one’s revenge

②「知(し)らせる」という意味(いみ)です。

It means “知(し)らせる”.

れい
例：

For example:

やきゅう　しあいけっか　ほう　しんぶん
野球の試合結果を報じるスポーツ新聞

The sports journal covers the results of baseball games.

メモ(Memo)

Ⅴ.文法(ぶんぽう)

Grammar

1. に至(いた)って/に至(いた)る…

get to/up to/to become

この文法(ぶんぽう)は程度(ていど)、結果(けっか)、範囲(はんい)などを表(あらわ)します。

This expresses a level, a result, or a range.

①時間(じかん)と一緒(いっしょ)に使(つか)うときは、「ある時間(じかん)・時点(じてん)になる」という意味(いみ)です。

When used with time, it means "ある時間・時点になる".

深夜(しんや)に至(いた)るスポーツ中継(ちゅうけい)

a sports event broadcasted until midnight

②場所(ばしょ)と一緒(いっしょ)に使(つか)うときは「到達(とうたつ)する」という意味(いみ)です。

When used with a place, it means "到達(とうたつ)する".

目的地(もくてきち)に至(いた)る

to arrive at the destination

③ 状態(じょうたい)や事柄(ことがら)をいうときは、事態(じたい)が極限状態(きょくげんじょうたい)、重大(じゅうだい)な状態(じょうたい)に達(たっ)して、「はじめて/ようやく/やっと」という意味(いみ)を表(あらわ)します。

When mentioning a state or an event, it reveals that they are “はじめて/ようやく/やっと(finally)” in an extreme situation.

V dictionary form　　に至(いた)って/に至(いた)る

N　　　　　　　　　　に至(いた)って/に至(いた)る

…に至(いた)ってはじめて

…に至(いた)って、やっと

「至(いた)って」は文章(ぶんしょう)の途中(とちゅう)に使(つか)い、「至(いた)る」は文章(ぶんしょう)の語尾(ごび)に使(つか)います。

“至(いた)って” is used in the middle of a sentence and “至(いた)る” is used at the end of a sentence.

「…に至(いた)ってはじめて」や「…に至(いた)って、やっと」などの形式(けいしき)でよく使(つか)われます。

It is used in the patterns like “…に至(いた)ってはじめて” or “…に至(いた)って、やっと”.

1. この難病(なんびょう)の原因究明(げんいんきゅうめい)の研究(けんきゅう)は、近年著(きんねんいちじる)しい進歩(しんぽ)を遂(と)げているにもかかわらず、まだ根本的(こんぽんてき)な治療法(ちりょうほう)の解明(かいめい)には

至(いた)っていない。

Although the study on the etiology of this incurable disease has progressed immensely in recent years, a fundamental therapeutic method has not been established yet.

2. あのケーキ職人(しょくにん)は10年(ねん)の修行(しゅぎょう)を積(つ)み、大会(たいかい)に挑(いど)んだ。
ここに至(いた)ってはじめて、職人(しょくにん)としての才能(さいのう)が開花(かいか)した。

After 10 years of training, the cake artisan finally entered the contest with his developed talent.

3. お父(とう)さんの会社(かいしゃ)は長年(ながねん)、経営不振(けいえいふしん)で、ついに倒産(とうさん)に至(いた)った。

After having financial difficulty for many years, my father’s company went bankrupt at last.

2. …に至(いた)っては

when it comes/as for/as to

V dictionary form　　に至(いた)っては

N　　に至(いた)っては

この文法には二つの使い方があります。

There are two ways of using this.

①いろんな状況の中でそれが極端であることを表します。
特にひどい状況や場合を言うときに使います。

It means to be extreme in many situations. It is used especially to express a terrible situation or circumstance.

トラブルが事ここに至っては、部下の不祥事の責任をとり、
支店長が辞職する事態になった。

Now that the trouble got worse, the branch manager had to resign to take responsibility for the mistakes of his subordinates.

「に至っては」の後の文章は状況の悪化、発展あるいは対策、措置などを表す文章です。

When using it in this way, "に至っては" is followed by a sentence that represents that a situation is worsening, developing, being dealt with, or being controlled.

「事ここにいたっては」という表現は、ある状況に至って、どうにも変更しようのない事態になることを表します。

The expression "事(こと)ここにいたっては" means that things comes to a certain pass and cannot be changed.

②話題(わだい)を提示(ていじ)するときに使(つか)います。

It is used to give a topic.

事故(じこ)の原因(げんいん)に至(いた)っては、のちほどお話(はなし)します。

As for the cause of the accident, I will give an explanation later.

1. 人気(にんき)バンドのメンバーの不仲(ふなか)の噂(うわさ)はよく聞(き)くことだが、あのバンドに至(いた)ってはなんとお互(たが)いに全(まった)く口(くち)を利(き)かないらしい。

There are many rumors that the members of popular music bands do not get along well. One of those rumors is that the band members do not even talk to each other.

2. この秋(あき)A社(しゃ)が発売(はつばい)したスマートフォンは、どれも今(いま)までより高機能(こうきのう)だ。こちらのスマートフォンに至(いた)っては、なんと、写真(しゃしん)を撮影(さつえい)すると同時(どうじ)に、SNSにも投稿(とうこう)できてしまう。

The lineup of smartphones released by company A this autumn has much higher performance than before. Especially with this one, you can post to social media at the same time you are taking a photo.

3. 5年連続赤字が続くに至っては、社長は今こそリストラをすべきだと判断した。

The president decided to try restructuring the company after making its fifth annual loss in succession.

ノート：例文の１番と３番は極端な状況を上げています。
２番は話題の提示です。

Note　: Example #1 and #3 provide extreme situations.
Example #2 gives a topic.

3. …に至るまで

until/as far as

V dictionary form　　に至るまで
N　　　　　　　　　に至るまで

この文法は程度や範囲を表します。その範囲・程度の終点も表します。

This represents a level or a range. It also expresses the end point of a level or a range.

よく「…から…に至るまで」の形で、ある範囲の両端の事柄を例示して、

その範囲のものすべて、という意味を表します。

In the form of "…から…に至るまで", it often represents everything in a range by providing the events on both ends.

出会いから結婚に至るまで

from the first encounter to marriage

1. 母　：なんであの子はこんなに収入がいい仕事をやめるの。

Mother : Why is he going to leave such a high-paying job?

父　：仕事をやめて、大学院に進学する決断に至るまで本人も相当考えたと思う。親として彼の意志を尊重しよう。

Father : I think he had considered much about this before he made a decision to quit his job to enter graduate school. We should respect his opinion as his parents.

2. この本は、幕末から現代に至るまでの日本の歴史を、面白くわかりやすく書いた素晴らしい作品です。

This book is a great piece of work which describes the history of Japan from the late Edo period to today in a funny and easy-to-understand manner.

3. 一丁目(いっちょうめ)の居酒屋(いざかや)は、内装(ないそう)から、音楽(おんがく)、店員(てんいん)の髪型(かみがた)や服装(ふくそう)に至(いた)るまで、すべてが昭和(しょうわ)のスタイルで、懐(なつ)かしさを感(かん)じさせます。

The tavern at 1 cho-me reminds me of nostalgic feeling, everything including the interior, music, even the staffs' hairstyles and outfits have the Showa style.

4. N にとどまらず

not limited to

この文法(ぶんぽう)は「…だけでなく」という意味(いみ)です。

This means "…だけでなく".

「その範囲(はんい)に限(かぎ)らず、ほかの広範囲(こうはんい)にも及(およ)んだ」という場合(ばあい)に使われます。
よく範囲(はんい)・時間(じかん)・地域(ちいき)を表(あらわ)す名詞(めいし)と一緒(いっしょ)に使(つか)います。

It is used to mean that "it does not stay in the range and reaches to the other extensive areas".

It is often used with a noun which represents ranges, times or regions.

1. 山田教授(やまだきょうじゅ)の研究成果(けんきゅうせいか)は 日本国内(にほんこくない)にとどまらず、世界的(せかいてき)にもよく知(し)られている。

The results of Dr. Yamada's work are well known not only in Japan but also overseas.

2. グローバル化(か)の進展(しんてん)に伴(ともな)い、偽物(にせもの)の流通(りゅうつう)も一国(いっこく)のみにとどまらず、世界全体(せかいぜんたい)へ拡大(かくだい)している。

With the development of globalization, distributions of fake products do not stay in one country, but are expanded to all over the world.

3. 望(のぞ)ましい高度人材(こうどじんざい)を獲得(かくとく)し、定着(ていちゃく)させていくためには、単(たん)に出入国管理制度(しゅつにゅうこくかんりせいど)の整備(せいび)にとどまらず、就労環境(しゅうろうかんきょう)、生活環境(せいかつかんきょう)を含(ふく)め総合的(そうごうてき)な観点(かんてん)から受入体制(うけいれたいせい)を整(ととの)えていくことが重要(じゅうよう)である。

In order to acquire highly skilled human resources and retain them, it is important to prepare for accepting them, by improving not only the immigration management system, but also their working and living environment, in a comprehensive way.

5. Nにもまして

above everything/more than before

この文法(ぶんぽう)は、今(いま)よりも前(まえ)の時間(じかん)と比(くら)べて、いっそう程度(ていど)が甚(はなは)だしくなっているさまを意味(いみ)します。技量(ぎりょう)や勢(いきお)いなどが増(ま)し、成長(せいちょう)している、盛(さか)んになっているといった意味(いみ)や、酷(ひど)くなっている意味(いみ)にも用(もち)います。

This grammar expresses a level gets more extreme compared to the previous time. It is used when a skill or a power is developing, improving, growing, or worsening.

「いつ/だれ/どこ/なに」などの疑問詞(ぎもんし)と一緒(いっしょ)に使(つか)うことが多(おお)いです。

It is often used with interrogatives like “いつ/だれ/どこ/なに”.

1. 応援団(おうえんだん)は、いつにもまして大(おお)きな声(こえ)でチームを応援(おうえん)している。

   The cheering squad is shouting for the team in their louder voices than usual.

2. 今年(ことし)は、例年(れいねん)にもまして残暑(ざんしょ)がきびしくなるでしょう。

   It is expected that the late summer heat of this year would be much more intense than before.

3. 親戚(しんせき)の叔母(おば)さんが久(ひさ)しぶりに遊(あそ)びにくる。叔母(おば)さんに会(あ)えることはもちろんうれしいが、それにも増(ま)して楽(たの)しみなのは、お土産(みやげ)の手作(てづく)りアップルパイだ。

   My aunt will visit me for the first time in a while. Of course, I am very glad to meet her, but above everything, I am looking forward to eating her home-baked apple pie.

6. …にして

only/just because/even/although/at/in/also

この文法(ぶんぽう)は主(おも)に三(みっ)つの使(つか)い方(かた)があります。

There are mainly three ways of using this.

①N にして

at (place, time)/in (time span)

「N にして」。これは場所(ばしょ)・場合(ばあい)・時(とき)などを表(あらわ)します。

「…において」、「…で」、「…に」という意味(いみ)です。

"N にして". This represents a place, occasion or time.

It means "…において", "…で" or "…に"

司法試験(しほうしけん)はとても難(むずか)しく、8回目(かいめ)にしてようやく合格(ごうかく)できました。

The bar exam is so difficult that he passed the bar on his eighth try.

彼(かれ)は 55 歳(さい)にして父親(ちちおや)になった。

He became a father when he was 55 years old.

この使(つか)い方(かた)では、「にして」はその場所(ばしょ)、場合(ばあい)、時(とき)を強調(きょうちょう)します。

When used in this way, "にして" emphasizes the place, occasion or time.

②な-adj にして

N にして

also

…は　A にして B　である

これはあることには A と B 二(ふた)つの面(めん)があることを表(あらわ)します。

It reveals that a subject has two aspects, A and B.

スミスさんは俳優(はいゆう)にして監督(かんとく)でもある。

Mr. Smith is both an actor and a director.

このように二(ふた)つの異(こと)なる面(めん)を説明(せつめい)するときに使(つか)います。

Just like this, it is used to explain two different aspects of the subject.

③な-adj にして

N にして

only/even

状況(じょうきょう)・状態(じょうたい)・様子(ようす)を強調(きょうちょう)するときに使(つか)います。

It is used to emphasize a situation, a condition or a state.

家(いえ)は火事(かじ)になったが、幸(さいわ)いにして家族(かぞく)はみんな無事(ぶじ)でした。

My house was destroyed by the fire, but fortunately, my family are all safe.

不幸(ふこう)にして、山本選手(やまもとせんしゅ)は試合中(しあいちゅう)に足(あし)に大怪我(おおけが)を負(お)い、

サッカーが二度(にど)とできないと告(つ)げられた。

Unfortunately, Mr. Yamamoto badly injured his leg during the game and

was told that he would never be able to play soccer again.

7. V[て-form]も始(はじ)まらない

it is no use

この文法(ぶんぽう)は仮(かり)の条件(じょうけん)の逆接(ぎゃくせつ)を表(あらわ)します。前(まえ)の事柄(ことがら)で述(の)べたことはあまり意味(いみ)がないという意味(いみ)を表します。

「…ても仕方(しかた)がない」、「…どうなるものでもない」という意味(いみ)です。

This shows the contradictory conjunction of a tentative condition.

It expresses that what one previously mentioned is mostly pointless.

It means "…ても仕方(しかた)がない" and "…どうなるものでもない".

1. A: 会議(かいぎ)の前(まえ)に、もっとしっかり資料(しりょう)を確認(かくにん)すればよかった。

I should have looked at the materials more thoroughly before

the meeting.

B: 今(いま)さら後悔(こうかい)しても始(はじ)まらないよ。今後(こんご)気(き)をつけましょう。

It is too late to regret. Let's keep it in mind from now on.

2. 文句(もんく)を言(い)っても始(はじ)まらないだろ。さっさと片付(かたづ)けよう。

Complaining won't change anything. Let's get it done.

3. 今(いま)さらそんな事(こと)を言(い)っても始(はじ)まらない。

Saying such things won't help.

8. N を余儀(よぎ)なくさせる

force to do

「余儀(よぎ)ない」は「他(ほか)に方法(ほうほう)がない・やむを得(え)ない」という意味(いみ)です。
この文法(ぶんぽう)は使役形(しえきけい)を使(つか)い、「相手(あいて)に〜を強制(きょうせい)する」という意味(いみ)を表(あらわ)します。

"余儀(よぎ)ない" means the same as "他(ほか)に方法(ほうほう)がない・やむを得(え)ない".

This grammar expresses the meaning of "force somebody to do something" by using the causative form.

台風(たいふう)の上陸(じょうりく)が、社員(しゃいん)の自宅待機(じたくたいき)を余儀(よぎ)なくさせた。

The typhoon forced the employees to stand by at home.

ここでは、「台風」が計画を変更しなければならない状態に追い込むということを表します。

Here, it expresses that the "台風" pushed them to the state that requires the change of their initial plan

「Nを余儀なくさせる」はよく、突然の出来事やよくない状況が現れる時に使います。過去形が使われることが多いです。

また、この文法は書き言葉でよく使い、硬い表現となります。

"Nを余儀なくさせる" is often used when a sudden event or a bad situation comes up. It is often used in the past tense.

Also, this component is often used in written language as a formal expression.

1. 入社してわずか1ヶ月だったが、度重なる無断欠勤が、その社員の退職を余儀なくさせた。

   Although it had just been a month since he joined this company, he had to be fired for being frequently absent without notice.

2. 記録的な暴風雨は、その空港の全便のキャンセルを余儀なくさせた。

   The record-breaking storm forced the airport to cancel all the flights.

3. 世界的な大不況が、あの大企業の倒産を余儀なくさせた。

   The global recession forced that big company to go bankrupt.

9. Nを余儀(よぎ)なくされる

to be forced to do or experience something (against one's will)

この文法(ぶんぽう)は受身形(うけみけい)を使(つか)い、周(まわ)りの事情(じじょう)に強制(きょうせい)されて、やむをえず、そうせざるを得(え)ないさまを表(あらわ)します。

By using the passive form, this grammar expresses a state of having no choice but to do something out of necessity, because of the circumstances

新(あたら)しい路線(ろせん)の工事(こうじ)のため、住民(じゅうみん)は引(ひ)っ越(こ)しを余儀(よぎ)なくされた。

Due to the construction work of the new railway lines, the residents were forced to move out.

ここでは、住民(じゅうみん)が嫌(いや)でも　引(ひ)っ越(こ)しをしなければならない状況(じょうきょう)になったという意味(いみ)を表します。

Here, it reveals that the residents had to move out even though they do not want to.

「Nを余儀(よぎ)なくされる」はよく突然(とつぜん)の出来事(できごと)やよくない状況(じょうきょう)が現(あらわ)れる時(とき)に使(つか)います。過去形(かこけい)を使(つか)うことが多(おお)いです。

“Nを余儀(よぎ)なくされる” is often used when an unexpected event or a bad situation comes up. It is often used in the past tense.

また、この文法は書き言葉や硬い表現であり、よく新聞やニュースで出てきます。

Moreover, this is a formal expression used in written language, that you often see in newspapers or magazines.

1. この年、ライバルのA社の参入により、B社は方向性の変更を余儀なくされた。

   This year, the entry of competing company A forced company B to change its direction.

2. 地震によってドイツの商社との契約の破棄を余儀なくされた。

   The earthquake forced us to break contract with the German business firm.

3. 私たちの意見は少数派で、会議では沈黙を余儀なくされていたが、ついに声をあげるときが来た。

   We had to keep silent in the meeting because we were the minority, but now the time has come for us to let out our voices.

10. …ずにはおかない/ないではおかない

will definitely

この文法(ぶんぽう)は「絶対(ぜったい)…する」、「必(かなら)ず…する」という強(つよ)い意志(いし)を表(あらわ)すときに使(つか)います。

This grammar is used to express a strong intention like "絶対(ぜったい)…する" or "必(かなら)ず…する".

この法令(ほうれい)は市民(しみん)の権利(けんり)を大(おお)きく損害(そんがい)する可能性(かのうせい)があるので、抗議(こうぎ)しないではおかない。

We must protest against this regulation because it may infringe our civil rights.

また、「ずにはおかない/ないではおかない」の前(まえ)の動詞(どうし)が、心理(しんり)、心情(しんじょう)を表(あらわ)す動詞(どうし)の場合(ばあい)では、「自然(しぜん)に…感情(かんじょう)が起(お)こる」という意味(いみ)を表(あらわ)します。

When the verb before "ずにはおかない/ないではおなかい" represents a feeling or an emotion, this grammar means "emotions will arise naturally".

あの監督(かんとく)が作(つく)る映画(えいが)は、観(み)る者(もの)の心(こころ)を動(うご)かさずにはおかなかった。

The movie created by that director definitely touched the audience's hearts.

V[ない-form]　　ずにはおかない/ないではおかない

G3(~~する~~)　　　せずにはおかない/しないではおかない

1. 裁判(さいばん)の場(ば)に立(た)って、本当(ほんとう)のことを言(い)わないではおかない。

I will definitely tell the truth in court.

2. A: 夏休(なつやす)みにノルウェーのプレーケストーレンに行(い)ったって？

Did you go to Preikestolen in Norway during summer vacation?

B: ええ。あれは本当(ほんとう)に人(ひと)を感動(かんどう)させずにはおかない眺(なが)めだね。

Yes, I did. That view was absolutely breathtaking.

3. 万引(まんび)きは窃盗罪(せっとうざい)だ。罰(ばつ)を与(あた)えないではおけない。

Shoplifting is larceny that they have to be punished for.

11. …ずにはすまない/ないではすまない

must/will definitely

この文法(ぶんぽう)は自分(じぶん)の義務感(ぎむかん)、周囲(しゅうい)の状況(じょうきょう)、社会的常識(しゃかいてきじょうしき)から考(かんが)えて、…しなければならないことを表(あらわ)します。

This shows one’s duty or obligation - what one has to do based on the

circumstances and common sense.

例：あれだけみんなに迷惑(めいわく)をかけておいて、知(し)らないではすまない。

Example: Ignorance is no excuse after you caused that many troubles for everyone.

V[ない-form]　　ずにはすまない/ないではすまない

G3(~~する~~)　　　　せずにはすまない/ないではすまない

よく一緒(いっしょ)に使(つか)う動詞(どうし)は「謝(あやま)る」、「弁償(べんしょう)する」、「責任(せきにん)を取(と)る」「返(かえ)す」などがあります。

It is often used with verbs like “謝(あやま)る”, “弁償(べんしょう)する”, “責任(せきにん)を取(と)る”, “返(かえ)す” and more.

1. お宅(たく)の子(こ)は　こんな高価(こうか)な芸術品(げいじゅつひん)を壊(こわ)したのだから、弁償(べんしょう)しないではすまないよ。

   Your children broke such an expensive artwork, so you must reimburse the money.

2. お客様(きゃくさま)から仕事(しごと)を受(う)けた以上(いじょう)、今更(いまさら)できないではすまない。

   Since I undertook the job from the customer, I must accomplish it.

3. 4年かけてやっとここまで来たんだ、最後までやり遂げずにはすまない。

It took four years to come here. I must stay the course.

12. …とばかりに

as if/as though

この文法は言葉では言わないが、いかにもそうである、そうであるかのようなさまを表します。相手の動作、様子、表情を述べるときに用いられます。

This shows something that is not mentioned but seems obvious or typical.

It is used to mention an action, a state, or an expression of a person.

「ここぞとばかりに」という表現は、ある機会を好機と捉えてさかんに働きかけるさまを表します。

The expression “ここぞとばかりに” is used to describe a state of seriously working on something, using an event as a good opportunity.

V plain form	とばかりに
V imperative form	とばかりに
い-adj	とばかりに
な-adj	とばかりに
N	とばかりに

1. 彼(かれ)は、わたしに帰(かえ)ってくれとばかりに、ドアを開(あ)けた。

He opened the door as if he wants me to go home.

2. 猫(ねこ)はねずみをしばらく目(め)で追(お)っていたが、ねずみが止(と)まった瞬間(しゅんかん)、ここぞとばかりに飛(と)びかかった。

The cat was following the mouse with its eyes for a while.

But at the moment that the mouse paused, the cat pounced on it.

3. 先生(せんせい)が教室(きょうしつ)を出(で)ると、生徒(せいと)たちはチャンスとばかりに話(はな)し始(はじ)めた。

As soon as the teacher left the classroom, the students took the opportunity to have chit chats.

メモ（Memo）

Ⅵ. 読解(どっかい)

Reading Comprehension

吾輩(わがはい)は猫(ねこ)である。名前(なまえ)はまだ無(な)い。

どこで生(うま)れたかとんと見当(けんとう)がつかぬ。何(なん)でも薄暗(うすぐら)いじめじめした所(ところ)でニャーニャー泣(な)いていた事(こと)だけは記憶(きおく)している。吾輩はここで始(はじ)めて人間(にんげん)というものを見(み)た。しかもあとで聞(き)くとそれは書生(しょせい)という人間中(ちゅう)で一番獰悪(いちばんどうあく)な種族(しゅぞく)であったそうだ。この書生というのは時々(ときどき)我々(われわれ)を捕(つか)まえて煮(に)て食(く)うという話(はなし)である。しかしその当時(とうじ)は何(なん)という考(かんがえ)もなかったから別段恐(べつだんおそろ)しいとも（ ① ）。ただ彼(かれ)の掌(てのひら)に載(の)せられてスーと持(も)ち上(あ)げられた時何(ときなん)だかフワフワした感(かん)じがあったばかりである。掌の上(うえ)で少(すこ)し落(お)ちついて書生の顔(かお)を見たのがいわゆる人間(にんげん)というものの見始(みはじ)めであろう。この時妙(ときみょう)なものだと思(おも)った感じが今(いま)でも残(のこ)っている。第一(だいいち) 毛をもって装飾(そうしょく)されべきはずの顔(かお)が（ ② ）してまるで薬缶(やかん)だ。

引用元(いんようもと)　著者名(ちょしゃめい)：夏目漱石(なつめそうせき)　題名(だいめい)：「夏目漱石全集(ぜんしゅう) 1」「吾輩は猫である」

出版社(しゅっぱんしゃ)：ちくま文庫(ぶんこ)、筑摩書房(ちくましょぼう)　出版年(ねん)：1987 年

問題(もんだい)1：(①)は、どんな言葉(ことば)が入(はい)りますか。

1. 思(おも)った
2. 思(おも)ってる
3. 思(おも)っていた
4. 思(おも)わなかった

問題(もんだい)2：何(なん)でも薄暗(うすぐら)いじめじめした所(ところ)でニャーニャー泣(な)いていた事(こと)だけは記憶(きおく)しているとあるが、ニャーニャー泣(な)いているのは誰(だれ)ですか。

1. 人間(にんげん)の赤(あか)ちゃん
2. 猫(ねこ)
3. 書生(しょせい)
4. 鳥(とり)

問題(もんだい)3：(　②　)に一番(いちばん)ふさわしい言葉(ことば)は何(なん)ですか。

1. つるつる
2. もじゃもじゃ
3. ふさふさ
4. ざらざら

訳文(やくぶん):

Translation:

Question #1: Choose the most appropriate word to fill in the brackets ①.

1. 思(おも)った (thought)
2. 思(おも)ってる (has been thinking)
3. 思(おも)っていた (used to think)
4. 思(おも)わなかった (did not think)

Question 2: There is a phrase "何(なん)でも薄暗(うすぐら)いじめじめした所(ところ)でニャーニャー泣(な)いていた事(こと)だけは記憶(きおく)している".

Who was meowing?

1. A human baby.

2. A cat.

3. A student.

4. A bird.

Question #3: Choose the most appropriate word to fill in the brackets②.

1. つるつる(smooth)
2. もじゃもじゃ(bushy)
3. ふさふさ(hairy)
4. ざらざら(rough)